


鉄道・バス等の 教材化を応援します！

実践校
募集！

◆一校（小中高等学校など）につき、**15万円**まで応援します。

◆例えば、次のような学習を応援します。

 地域の電車・バスなど（公共交通）について考える学習

単元例 小学校3年（社会）：市の様子の移り変わり

 クルマ社会の問題（渋滞・環境問題など）について考える学習

単元例 小学校5年（社会）：我が国の工業生産

 まちづくりと交通について考える学習

単元例 高校（地理総合）：資料から読み取る現代世界（交通の発達）

 交通を通じて自分たちの住む地域やふるさどについて考える学習

単元例 小学校3年（社会）：身近な地域や市区町村の様子

 その他、まち・環境・公共（政治や公民的資質、シティズンシップなど）と交通に関わる、様々な学習

単元例 中学校（公民）：さまざまな国際問題（地球環境問題）

（資源・エネルギー問題 限りある資源と環境への配慮）

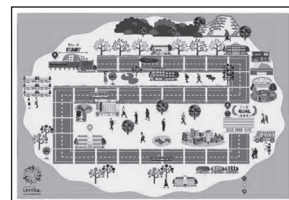
募集期限

令和6年

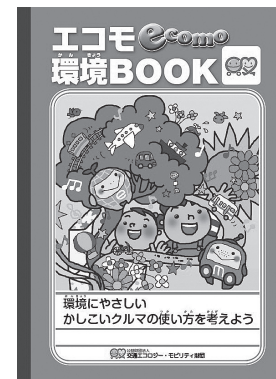
6月15日

（当日消印有効）

■例：交通すごろく



■エコモ環境BOOK



公共交通を
題材にした
道徳や
マナー教育に

持続可能な
社会の担い手を
育む教育に

温暖化問題や
大気汚染の
教育に

是非、ご応募ください！

〈詳しくは裏面を〉 



公益財団法人

交通エコロジー・モビリティ財団

【募集要項】

小中高等学校の教育課程において実施される 鉄道やバスなどを教材とした学習（※モビリティ・マネジメント学習）に 関するものを募集します。

※モビリティ・マネジメント教育（略称：MM 教育、交通環境学習）とは、私たち一人ひとりの移動手段や社会全体の交通を、「人や社会、環境にやさしい」という観点から見直し、改善していくために自発的な行動をとれるような人間を育てる（力を育む）ことを目指した教育活動です。モビリティ・マネジメント教育の実施に意欲的な教員に対して、ノウハウの提供や資金面での支援を行い、実施校の拡大と新たな教材事例の増加を図ることを目的として、本制度を平成22年度より実施しています。

支援 対象者

小中高等学校の教員または、教員による研究グループ
（ただし申請にあたっては、校長の承認を得られていることを前提とします）

支援 内容

（1）実施面での支援

- 当該地域の自治体や交通事業者などと連携の支援
- 教材や参考となるデータの提供などの支援

（2）資金面での支援

①支援対象経費

モビリティ・マネジメント教育の実施にかかる費用

講師謝金（外部の方に講演を依頼した場合）、旅費交通費、消耗品費、印刷製本費、
図書資料の購入費など。注：カメラやビデオなどの汎用性のある機器は対象になりません。

②支援限度額

1校につき、15万円程度を限度とします。

（3）支援期間：単年度限り

（4）募集校数：15校

（5）募集期限：令和6年6月15日（当日消印有効）

（6）結果発表：委員会（7・8月開催予定）において選考を行い 文書にて通知します。

（7）成果報告

助成を受けた方には、助成金によって実施した教育活動に対する報告書（財団指定
様式 A4×2枚）を提出していただき、ポータルサイトにて公表します。また併せて、
助成金の使途明細及び領収書（写し）も添付していただきます。

募集内容の詳細や過去の支援校の取組み、申請書類などの
ダウンロードは、交通環境学習ポータルサイトを参照ください。

MM教育 教員支援

検索



問い合わせ・申請書提出先

公益財団法人
交通エコロジー・モビリティ財団
交通環境対策部 田中・岡本

〒102-0076
東京都文京区後楽1-4-14 後楽森ビル10F
TEL:03-5844-6268 FAX:03-5844-6294
E-mail:info@mm-education.jp
財団HP:https://www.ecomo.or.jp